

10月は全国漁船安全操業推進月間です

漁協ぐるみで
取り組もう！

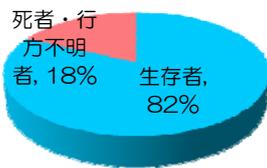
これまでの月間の取組の例・・・

- 組合員が相互に安全な操業や救命胴衣の着用の声かけ
- 海難防止・安全講習会を開催し組合員が参加
- 女性部による浜での呼びかけ(ライフジャケット着用の徹底等)

ライフジャケットを着よう

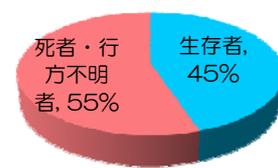
- ライフジャケットを着ないと、海に転落した際の死亡率が3倍になります！

ライフジャケット着用者



3倍危険

ライフジャケット非着用者



[出典:平成22年海難の現況と対策について(漁船における海中転落者のライフジャケット着用率:海上保安庁)]

- ライフジャケットの着用義務があります。

- ・ 漁船への一人乗り航行・漁労中に未着用の場合、6ヶ月以内の免許停止の処分対象
- ・ 船員法対象漁船では、乗組員はもちろん、船主にも乗組員に着用させる義務

みんなでメンテナンスしよう！



スプール等を定期交換していますか？

取り付けが緩んでいませんか？

ポンペにサビ・傷等はありませんか？

【「日常点検」あなたの救命胴衣は大丈夫？(小型船舶関連事業協議会)を基に作成】

着る前に、チェック！

ベルトやバックル、作動策等は破損していませんか？



気室布等が破損していませんか？
補助送気管に息を入れて空気漏れはありませんか？

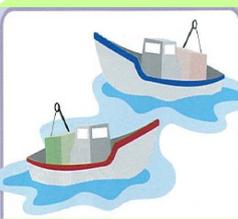
海難の未然防止のために



漁具や漁獲物の扱いに気を取られて見張りがおろそかになっていませんか？ しっかり見張りを行っていますか？



操船を自動操舵まかせにして、居眠りしていませんか？

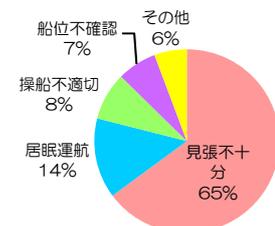


早めの回避行動を心がけていますか？



航行・操業中の横波、追い波に対して注意していますか？

漁船事故(衝突・乗揚)の原因



[マリンセーフティガイド 漁船編(海上保安庁)を基に作成]

[出典:平成22年海難の現況と対策について(海上保安庁)]

天気や海の状況に気をつけよう！

気象・海象の情報収集

沿岸情報提供システム (MICS)

海の安全情報

海難・事故情報 気象・海象情報 航行の制限情報

気象警報・注意報 航路標識の事故 航路障害物情報

緊急情報	避難勧告、海難の発生や気象警報・注報など
気象・海象情報	灯台で30分毎に観測した風向、風速等の状況
海上安全情報	海上工事、漁業活動状況や海難防止対策など
海に関するデータ	潮流、潮汐情報や過去の気象データなど
ライブカメラ	灯台等に設置したライブカメラの映像



海の安全情報メール

緊急情報をメールで受信する。

登録は以下のアドレスから：
<http://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>

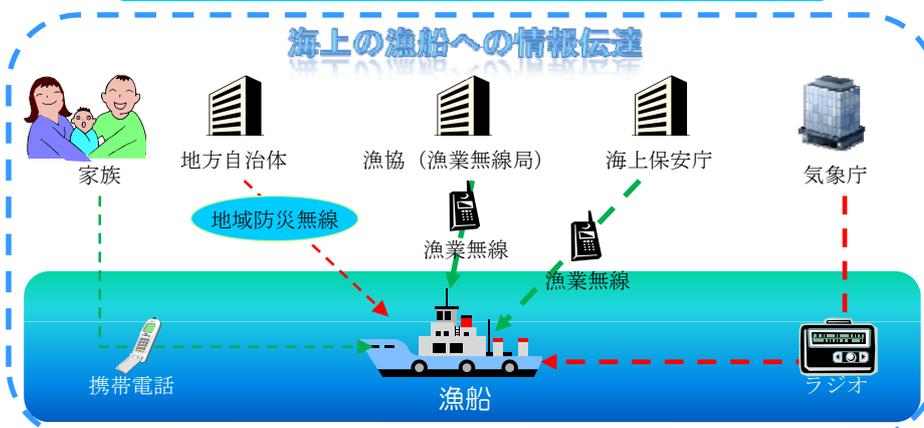
※第三管区海上保安本部で既に開始

以下のアドレスから海の安全情報を手に入れる！

パソコン→ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>
 携帯電話→ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/m/>

津波などに備えて

複数の緊急連絡手段を確保する



【「漁業地域の減災計画策定マニュアル～みんなでつくる減災計画～」(水産庁漁港漁場整備部)及び「災害に強い漁業地域づくりガイドライン(水産庁漁港漁場整備部)を基に作成。】

津波に備えた事前の取組

- 自治体・漁協・地域住民等が一体となって津波が起きた際の避難ルール等について、話し合いを行きましょう。
- 避難場所・避難海域等について説明会等を開催し津波に対する知識やルール等について周知・普及・啓発しましょう。

幹事団体： NPO法人 水産業・漁村活性化推進機構

協 賛： (社)大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会、漁船保険中央会、(財)漁船海難遺児育英会、(財)中央漁業操業安全協会、(社)全国漁業無線協会

後 援： 水産庁、国土交通省、海上保安庁、運輸安全委員会